

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和8年6月19日（金）

場 所：雲南市立掛合中学校

対 象：1年生12名

指導者：社会科担当

埋蔵文化財調査センター職員

1. 主題 古代の生活を知ろう～古代食作り体験～

2. ねらい

- ・古代の人々の生活に関心をもつ。
- ・古代食作りの体験を通して、古代人の食生活について知り、古代人の生活への理解を深める。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項
あいさつ (10:00～10:05)	○学習の流れを確認する 場所：1年生教室	・講師を紹介する。 ・学習のねらいと内容を説明する。
座学 (10:05～10:35)	○縄文・弥生時代の生活や土器について知る 場所：1年生教室	・パワーポイントを使って説明する。
見学・解説 (10:35～10:45)	○土器等の遺物の見学 場所：ランチルーム	・見学のときに遺物を破損しないように注意を促す。
休憩 (10:45～10:55)		
古代食作り (10:55～11:35)	○古代食作り 場所：調理室 ・赤米の炊飯 (炊飯 30 分・蒸らし 10 分) ・縄文クッキー作り (どんぐり粉を使用)	・安全面、衛生面に十分配慮する。 ・縄文クッキーはフライパンで焼く。 ◎準備物 (学校) 調理器具(コンロ、フライパン、ボウル)、食材(ウズラの卵、ミンチ 200～250g、クルミ、長いも)、調理用手袋 (生徒) エプロン、マスク、筆記用具 (埋文センター) 食材(どんぐり粉・赤米)、炊飯用土器、学習の資料
試食 (11:35～11:50)	○古代食の試食	
片付け (11:50～12:00)	○片付けとお礼のあいさつ	